



日本製

越後伝統刃物 農鍛冶・郷道忠治 つるばみシリーズ

produced by

UNIFLAME

MADE IN JAPAN

仕様

(カタログラインナップ外も含む)

■TSURUBAMI ちび鉈 片刃二寸三分

<ポリエステル2WAYシース>

サイズ/ 全長:約18.5cm・刃長:約7cm・
身厚:約0.6cm

材質/ 刃部:軟鉄+SK-5・柄:カン
重量/ 約290g

■TSURUBAMI ちび剣鉈 両刃三寸三分

<ポリエステル2WAYシース>

サイズ/ 全長:約21cm・刃長:約10cm・
身厚:約0.4cm

材質/ 刃部:軟鉄+SK-5・柄:カン
重量/ 約200g

■つるばみ鉈 はまぐり片刃

<ポリエステル2WAYシース>

サイズ/ 全長:約35cm・刃長:約16.5cm・
身厚:約0.6cm

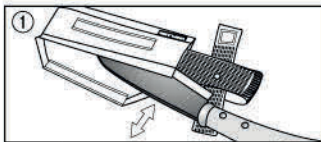
材質/ 刃部:軟鉄+SK-5・柄:カン
重量/ 約500g

※手作り品のため、製品によって多少数値が異なります。

2WAYシースの使い方

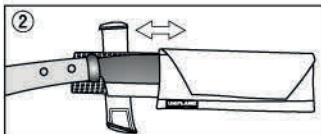
(鉈・ちび剣鉈・ちび鉈)

鉈を挿入れ・挿入れ2通りの収納が出来ます。
使用目的に合わせて使い分けてください。



挿入れ

大きなフラップを開いて簡単安全に出し入れ出来ます。



挿入れ

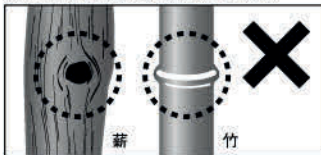
扉鉈として使用出来ます。

注意

木に食い込んだ場合、または打ち込む場合、ひねらないでください。刃が欠けます。



薪や竹の節への使用禁止。刃が欠けます。



△ご使用上の注意

- ご使用後は鉈本体・シースとも汚れをきれいに落として水気をよく切り乾燥させてください。
- その後鉈本体には油を軽く塗布してから保管してください。(そのまま放置しますとサビが発生します)
- 柄との結合部はなるべく濡らさないでください。濡れた場合はよく乾燥させてください。
- 刃は大変鋭くなっております。取り扱いは十分に気を付けてください。
- 幼児の手の届かない場所に置いてください。
- ご使用中、鉈が木に食い込んだ場合、また打ち込む場合絶対にひねらないでください。刃欠けの原因になります。大きく刃欠けしたときは、販売店または専門店にて修理されることをお勧め致します。
- 当製品を薪や竹の節に使用しないでください。また、木材の木目に沿って使用していただきます。薪や竹の節および刃が木目に沿わない形で切断する場合は、刃欠けの恐れがありますので、このぎりぎりをご注意ください。

株式会社 **新越ワークス**

UNIFLAME 事業部

本社: 〒959-0223 新潟県南蒲原市田中1-10-11
TEL:02561-63-9851 FAX:02561-63-6553

※価格についてのお問い合わせは
東京営業所: 〒112-0074 東京都千代田区入船4-3-13
TEL:03(3)3264-6311 FAX:03(3)3264-8310

ユニフレイム **検索**

www.uniflame.co.jp

農鍛冶または野鍛冶と書いて「のかじ」と呼びます。主に土農具を製造する鍛冶屋（鍛造メーカー）のことです。刀鍛冶とは対照的に、かつての町や村にはその土地にあった土農具を作る鍛冶屋があり、唱歌「村の鍛冶屋（かじや）」にも歌われました。時代の変遷とともにその姿は変わりましたが、今なお伝統の技術を現代に受け継ぎながら、より良い製品を世に送り出す我々鍛冶職人集団、それが「郷道忠治（こうどうただはる）」です。

「つるばみ」は、良質な木炭原料でありどんぐりの木である「クヌギ」の古名です。どんぐりそのものを言う場合やそれを使った染物衣料・色などをそう呼び、万葉集にも登場します。里山の雑木林に数多く自生し、古くから生活に密着していました。アウトドアの延長で野山や沢へ踏み入るときに、気軽に腰にぶら下げて使用して欲しいとの願いから、先人の山仕事よりイメージをふくらませて命名しました。

製品はすべて、「越後三条の刃物鍛冶」による手作り鍛造品です。

一丁一丁、職人の手から直接生み出されております。サイズは実用性を重視し、取り回しの良い短めなつくりです。ポリエステル製のシースは刃が当たっても破れない特殊構造。軽量化とともに、水濡れ・汚れ防止への強化が図られております。



◎鋼材・製造工程

鋼は炭素工具鋼である鋼（はがねSK15）を使用。切れ味とその持続性や研ぎやすさなどといった、刃物として総合的にも優れた性能を有しております。

加工は地鉄（軟鉄）と鋼を加熱し、スプリングハンマーで叩き付けて接合（鍛接）。大まかな形に叩き伸ばしたあと、製品の形に削り出します。その後、刃物に最も適した熱処理を行い、最高の性能を引き出して製品化します。すべて長年の経験と技術による、ひとつひとつ手作業の手作り品です。

この越後刃物の伝統をいかに継承した「つるばみシリーズ」。その切れ味・風合いをとくとご堪能ください。

◎「つるばみ」シリーズ 刃の研ぎ方

「中砥」程度の平らな砥石（へこみがある場合は修正してください）を20分以上水に浸し、雑巾等の上に固定してください。研ぎ方は「切刃研ぎ」です。砥石表面に刃をピッタリ当てた状態より少し立てて、刃先1mm幅くらいを当ててください。角度を保ちながら砥石の上を軽く滑らせて、その1mm幅を研ぎます。ねずみ色でどちらの液はそのまま使用してください。裏側全体に研ぎバリが出たら、裏返して同じように研ぎます。なお片刃の場合は、刃表（剝印側）を9、刃裏を1の割合で研いでください。研ぎバリとりは、先ほどの研ぎ角度より更に立てて砥石に当て、軽く2、3回両側を研いで仕上げます。蛤刃はまぐりばに仕上げの場合は、前記「切刃研ぎ」研ぎ面上部の山（刃先より3mm部分）を研ぎ、更に上の山を研ぎを繰り返す、いくつもの細かい研ぎ面を最終的にならしてなめらかに仕上げます。刃先を丸めてしまわないように注意してください。

◎お手入れの仕方

ご使用後は汚れをきれいに落として水気をよく切り、油を軽く塗布して保管してください。柄との接合部はなるべく濡らさず、濡れた場合はよく乾燥させてください。なお、刃先には十分注意して取り扱ってください。

◎刃研ぎご希望の方は…

弊社では、「つるばみシリーズ」の刃研ぎを行っております。お求めの販売店か、弊社までお問い合わせください。